

2019年8月度情報交換会

日時：2019年8月28日（水）14:00～

【発表内容】

1. 『SAKATA MUSIC FESTIVAL 2019』について
（発表者） 石森 大輔（2年）

2. FORUM21 について（地域共創センター）
 - (1) 「金峯山とクアオルトの可能性」【教授 温井 亨】
 - (2) 「企業は社会の公器」（PHP 総研主席研究員 亀井 善太郎 氏）
【准教授 倉持 一】

（リリースのみ）

3. 東北公益文科大学 総合研究論集（第36号）の発行について

4. 欧州安全保障協力機構（OSCE）訪問及びモンゴル日本人材開発センターインターンシップ帰国報告会について

リリース情報に関するお問い合わせ
東北公益文科大学（広報担当）池田、佐藤
TEL) 0234-41-1111 FAX) 0234-41-1133
E-mail) koho@koeki-u.ac.jp

SAKATA MUSIC FESTIVAL

企画書



1 SAKATA MUSIC FESTIVALとは

「自分たちのまちは自分たちで元気にする」という言葉を胸に、山形県酒田市「東北公益文科大学」の学生が立ち上げました。山形県酒田市はシャンソン歌手である岸洋子さん、現在は解散してしまいましたが地元アイドルグループSHIP（ローカルアイドルの先駆けと言われています）現在はソロでも活躍されている上々颯風の白崎映美さんの生まれた地であるなど音楽との縁も深く、地元のバンドシーンも常に熱く、音楽イベントも多く展開されており、その中のひとつがSAKATA MUSIC FESTIVALです。このイベントでは会場である商店街にステージを設け、様々なジャンルのアーティストが演奏を行います。道行く方々が、新たな音楽を発見・体感できる、共通の音楽趣味を持つ仲間を見つける。商店街の方々と交流をする、演者の方々は酒田という街に触れて頂く。そのような良い循環を目指しています。多くの方が参加しやすい「音楽」をテーマに学生が中心となりイベントを実施することで、新たな可能性に向けてのアイデアを創出させて「まち」の活性化を図ります。

ミュージックフェスティバル開催日時：2019年10月6日（日）11:00~17:00

※時間帯に若干の変更がある場合がございます。

会場：山形県酒田市中町モール（清水屋横アーケード）2ステージ

- 内容：
- ・音楽ライブ、演奏
 - ・ステージ外、出店ブースの設置（同時開催肉フェス等）
 - ・ロックインサカタ（中央公園）同時開催
 - ・抽選会の開催

2 会場 (予定)



金峯山とクアオルトの可能性

かつて庄内には羽黒修験だけでなくいくつもの修験がありました。なかでも金峯修験は、庄内の外からも多くの人を集めたと伝えられています。そして修験の後は、はばき脱ぎという現世に戻る儀礼があり、金峯山では、それは麓の湯田川温泉に遊ぶことでありました。修験と温泉との関係は明治以降廃れてしまいましたが、ドイツではクアオルトとして現在も続いています。クアオルトでは、医師の指導のもと温泉保養、野山の気候や海、水を活用し治療するほか、野山を歩く健康ウォーキングも行われています。日本でも近年まで湯治が盛んでしたが、ドイツでは、現在も温泉活用とともに野山のウォーキングを一緒に行っており、それは日本の修験とはばき脱ぎの取り合わせに似ています。近年これを日本型クアオルトとして日本で初めて試みているのが上山温泉です。観光客の減少を補うとともに、地域住民の健康寿命の延長、医療費削減を狙っています。上山市は温泉旅館が中心となり、市がバックアップしていますが、それを指導しているのが、市役所を辞め、芸工大でこれを研究し、博士号を取得した小関信行氏です。金峯山は昭和16年に国の名勝となりましたが、平成30年、初めて保存活用計画が策定され、より多くの人たちの来訪が期待されています。今でもハイキングで上る人は多いのですが、それに加えて、湯田川温泉をあわせて利用する新しいレクリエーション、保養としてのクアオルトの可能性、その結果としての金峯山、湯田川温泉の振興、さらには表参道である青龍寺集落の茶店復活や、麓を含めての風景の保全を、先行する上山温泉から小関氏をお迎えして、参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

参考：上山市クアオルト <https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/site/kurort/>



■講師

小関信行(日本クアオルト研究所所長、日本クアオルト研究機構事務局長)

[略歴] 上山市役所を辞め、東北芸術工科大学でドイツのクアオルトを研究。2009年、博士号を取得。日本初のクアオルト学研究者として、上山市、天童市、西川町、青森市、秋田県三種町、大分県由布市、埼玉県所沢市、同横瀬町、石川県珠洲市、岐阜県白川村、同飛騨市、同岐阜市、三重県志摩市、兵庫県多可町、岡山県新見市、宮崎県延岡市ほか多数の地域で日本型クアオルトの形成や気候性地形療法を指導。ドイツ全土のクアオルト鑑定者であり、気候性地形療法を見出したミュンヘン大学アンゲラ・シュー教授より、日本での気候療法・気候性地形療法の研究・指導に関する全権を委任されている。

■催し1 小関信行氏 講演会

2019年9月24日(火)14:00～16:00、東北公益文科大学大学院鶴岡キャンパス・ホール

■催し2 金峯山の麓を歩く(金峯山麓クアオルト・コース試し歩き) 湯田川コミュニティセンター：共催

2019年9月25日(水)9:30～11:30 小雨決行(山歩きの靴、帽子、水筒、虫除けスプレー等、適宜用意ください)
集合：湯田川コミュニティセンター Tel: 0235-35-2111 (当日朝確認用)

■参加の方法 無料です。催し1は申し込み不要。催し2は、前々日までに下記にお申し込みください。

■申し込み・問い合わせ 東北公益文科大学地域共創センター〒998-8580 酒田市飯森山3-5-1
Tel: 0234-41-1115 Fax: 0234-31-2082 E-mail: kyoso@koeki-u.ac.jp

後援：湯田川温泉観光協会、金峯山観光協会、湯田川地区自治振興会、黄金地区自治振興会、鶴岡市



東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Studies

公益教養プログラム

FORUM 21

経営コース教員企画講演会

企業は社会の公器

講師 亀井 善太郎氏

PHP 総研主席研究員

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 特任教授

認定 NPO 法人アジア教育友好協会理事



環境問題、海洋ごみ問題、漁業資源問題などが大きな話題となるなど、持続可能な開発が求められる現在、企業と社会の望ましいあり方とは、どのようなものでしょうか。

シンクタンカー、大学教員、NPO マネジメントとして民間からの政策の発案を行っている亀井善太郎先生より、松下幸之助の「企業は社会の公器」という考え方を切り口に、企業の社会的責任（CSR）などについてお話しいたします。

《日時》 2019 年 10 月 3 日 木曜日

午後 1 時 10 分より

《場所》 東北公益文科大学 公益ホール

(酒田市飯森山 3-5-1)

- 参加対象者：どなたでも参加できます。直接会場までお越しください。
- 参加費：無料
- お問い合わせは地域共創センターまで。

TEL: 0234-41-1115 FAX: 0234-31-2082 Email: kyoso@koeki-u.ac.jp

本事業は公益のふるさとづくり活動補助金（庄内開発協議会）の支援を受けて行なっております。

2019年8月28日
東北公益文科大学

東北公益文科大学 総合研究論集(第36号) の発行について

東北公益文科大学 総合研究論集(第36号 2019年7月30日発行)を發刊しました。

掲載内容(目次から)

巻頭言

「公益的な地域社会の実現と創造的な合意形成の場づくり

— 山形県庄内地域における取り組み実践から考える — ……………呉尚浩

地方在住若年女性は何を望んでいるか ～女性活躍推進のもとで～ ……………伊藤眞知子

お金に関連する行動の違いは他者に異なる印象をもたらすか？

——同性を想定した場合と異性を想定した場合の比較—— ……………渡辺伸子

An empirical analysis of the relationship between remittances and the real
effective exchange rate for Tajikistan ……………SULTONOV Mirzosaid

児童虐待対策の変遷から見る未然予防の到達点の課題 ……………竹原幸太

主成分分析による自治体財政の総合的分析

—新潟県内市町村の財政指標データをもとに— ……………小野英一

『華文俳句選』—瞬間を詠む中国短詩型の実験 ……………呉衛峰

※総合研究論集(第36号) をご覧になりたい方は大学戦略推進室にお問い合わせください。

※本学 HP リポジトリリー <https://koeki.repo.nii.ac.jp/>からもご覧になれます。

お問い合わせ

大学戦略推進室

電話) 0234-41-1119

2019年8月28日
東北公益文科大学

欧州安全保障協力機構(OSCE)訪問及び モンゴル日本人材開発センターインターンシップ 帰国報告会について

前回の7月度情報交換会にて案内した、欧州安全保障協力機構(OSCE)訪問及びモンゴル日本人材開発センターインターンシップの帰国報告会を下記にて行います。

記

○ 日時：2019年 **9月13日(金) 14:00～15:00**

○ 場所：東北公益文科大学酒田キャンパス 本部棟1階 **地域共創センター内**

お問い合わせ

広報担当 池田

電話) 0234-41-1111(代) 内線 1125